平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」次第

平成２２年６月２９日（火）　午後２時～
足立区役所　８階「特別会議室」

１　子ども支援専門部会長挨拶

２　報告事項

（１）平成２１年度「あだち次世代育成支援行動計画」の実績報告について
子ども家庭課　（資料１）

（２）平成２２年度学童保育室待機児童の現況について
住区推進課　（資料２）

（３）ワーク・ライフ・バランス普及啓発キャンペーンの実施について
男女共同参画推進課　（資料３）

（４）子ども手当の支給状況について
子ども家庭課　（資料４）

（５）児童扶養手当の父子家庭に対する支給について
子ども家庭課　（資料５）

（６）あだち子育て応援隊事業「病児保育」及び「お泊り保育」について
こども家庭支援センター　（資料６）

（７）食育フェスタ２０１０の実施報告について
健康づくり課　（資料７）

（８）平成２２年度の認可保育園待機児童の状況について
子ども家庭部副参事（待機児童対策）　（資料８）

（９）保育需要の現状と待機児童解消に向けた当面の対応について
子ども家庭部副参事（待機児童対策）　（資料９）

３　その他

平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

資料１

平成２２年６月２９日

件　　名	平成２１年度「あだち次世代育成支援行動計画」の実績報告について
所管部課	子ども家庭部子ども家庭課

内　　容

「あだち次世代育成支援行動計画」の平成２１年度実績を集約したので、概要を報告する。

１　あだち次世代育成支援行動計画（平成１６年度～２１年度）
現在１４２事業（１６７項目）で、９部、１機関が所管している。
このうち、２７事業（３２項目）が重点事業となっている。

２　事業の評価
全事業（１６７項目）に対してＡ、Ｂ、Ｃの３段階評価を実施。
Ａ：概ね実施できた（８割程度以上）・　・・１５２事業（項目）
Ｂ：ある程度できた（４割程度以上）・・・　１３事業（項目）
Ｃ：あまり実施できなかった（４割程度未満）・・・２事業（項目）
全事業（項目）の約９０％がＡ評価で、そのうち６１事業（項目）が利用者数や件数等において目標値を上回り、需要度は高くなっている。
＜参考＞

３　利用者・件数等において前年度との比較で大きな伸びがあった主な事業

事業名	２０年度	２１年度
226 こんにち歯ひろば	実施回数100回 参加者2,581人	実施回数100回 参加者3,946人
１歳前後の乳幼児と保護者を対象に、歯磨き準備・甘味の飲食習慣等のグループ学習や親子交流、個別歯科相談を実施した。		
322 仲間づくりの応援	子育てサロンの利用者 141回/年間　延5,497人	子育てサロンの利用者 261回/年間　延6,635人
乳幼児を持つ親子が気軽に集える施設として利用者は多く、昨年度から千人以上増加している。		
724 虐待ファミリーソーシャルワーク会議	開催数 72回/年間	開催数 139回/年間
各関係機関（こども家庭支援センター、教育委員会、保健所、福祉事務所、幼稚園、住区推進課等）が連携し、地域の中で児童虐待への対応を検討した。		

４　公表
行動計画に基づく実施状況は、年１回公表することとされており、２１年度実績についても、子ども支援専門部会の審議を経て、区ホームページ等で公表する。

平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会 「子ども支援専門部会」

資料２

平成２２年６月２９日

件　　名	平成２２年度学童保育室待機児童の現況について
所管部課	区民部住区推進課

内　　容

平成２２年度の学童保育待機児童については、
（１）千住地域（日ノ出町）に民間学童保育室を増設（定員３０人）
（２）入室定員の一割増による定数弾力化（１４７人増）
（３）児童館の特例利用の拡大（学校休業日に加え、平日の放課後も待機児童が利用できる制度）
等によって解消に努めてきた。
この現況について、下記及び別紙のとおり報告する。

記

1　入室申請の状況推移　　申請率=申請者数／対象学齢児数

区 分	対象学齢児数（1年～3年）	対前年度比較増減	申請者数	対前年度比較増減	申請率
18年度	16,284人	−173人	3,554人	＋ 78人	21.8%
19年度	16,176人	−108人	3,701人	＋147人	22.9%
20年度	16,074人	−102人	3,914人	＋213人	24.3%
21年度	16,054人	−20人	3,862人	−52人	24.1%
22年度	16,056人	−2人	3,772人	−90人	23.4%

2　待機児童の状況推移　　待機児童率＝待機児童数／申請者数

年度／室数	総定員数	申請者数	入室児童数	児童館特例	待機児童数	待機児童率
18年／88	3,440人	3,554人	3,354人	−	165人	4.6%
19年／92	3,560人	3,701人	3,499人	−	163人	4.4%
20年／95	3,620人	3,914人	3,599人	−	255人	6.5%
21年／96	3,650人	3,862人	3,646人	91人	82人	2.1%
22年／98	3,785人	3,772人	3,565人	63人	71人	1.8%

3　待機児童の現況等

平成２２年４月２日以降、待機児童７１名の現況調査を行なった。

転居、児童館特例利用、民間学童保育室入室等の事由により、４月６日現在の待機児童は４８名となった。

この４８名について放課後の過ごし方についてアンケートをとったところ、「習い事・塾（１２名）」「放課後子ども教室利用（９名・予定含む）」「自宅（７名）」【回答数１８、複数回答可】であった。

4　入室申請状況及び地区別待機児童状況

別紙（参考）のとおり

別　紙（参考）

入室申請状況及び地区別待機児童状況

1　平成２２年度入室申請状況

		施設数	定員	申請者数	入室者数
公設	直営学童保育室	13 室	485 人	505 人	467 人
	住区センター・指定管理	74 室	2,955 人	2,974 人	2,782 人
民設民営学童保育室		11 室	345 人	293 人	316 人
計		98 室	3,785 人	3,772 人	3,565 人

2　地区別待機児童状況（公設施設のみ）　（単位：人）

地域エリア	地域内の室数	学年別待機児童数				児童館特例	関連小学校の放課後子ども教室実施状況　（　）内 校数
		1年	2年	3年	計		
1　千住地域	7 室	2	3	8	13	15	週 5 回(3)週 3 回(2)週 1 回(1)
2　綾瀬地域	9 室	3	5	11	19	33	週 3 回(1)週 2 回(2)週 1 回(2)
3　大谷田・佐野地域	8 室	0	2	1	3	3	週 4 回(1)週 1 回(1)
4　中央本町地域	10 室	0	2	10	12	8	週 4 回(1)週 2 回(1)週 1 回(1)
5　花畑・保塚地域	8 室	0	0	0	0	0	
6　竹の塚・六月地域	11 室	0	0	1	1	1	4 年生以上で実施
7　梅島地域	5 室	1	2	5	8	2	週 2 回(1)週 1 回(1)3 年生以上
8　西新井・江北地域	10 室	0	0	1	1	0	週 3 回(1)
9　伊興地域	8 室	0	0	0	0	0	
10　鹿浜・舎人地域	11 室	3	5	6	14	1	週 4 回(1)週 3 回(1)週 1 回(1)
計	87 室	9	19	43	71	63	

資料３

平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」　　平成２２年６月２９日

件　　名	ワーク・ライフ・バランス普及啓発キャンペーンの実施について
所管部課	区民部男女共同参画推進課
内　　容	平成２２年３月策定の「第２期あだち次世代育成支援行動計画（平成２２年度～２６年度）」において、ワーク・ライフ・バランス（以下「ＷＬＢ」という）の視点が新たに加わり、計画事業として位置づけられている。 ＷＬＢの理念や必要性については、マスコミ等で取り上げられているものの、十分周知されていない。そのため、下記により普及啓発キャンペーン期間を定め、集中して事業を実施し、区民や区内企業経営者・従業員等への普及啓発を進めた。 １　キャンペーンの期間 平成２２年６月２３日（水）から２９日（火）の１週間 ※内閣府は、上記期間を「男女共同参画週間」としている。 ２　キャンペーンの内容 6/23（水）　駅頭でのチラシ等配付によるＷＬＢのＰＲ活動 （足立区女性団体連合会・男女共同参画推進委員会と協働） 6/25（金）　ＷＬＢ推進企業認定式＆セミナー ・基調講演「働く幸せを大切にする企業経営」 大山泰弘氏（日本理化学工業株式会社会長） ・認定企業７社に認定証交付及び取組み事例報告 （後援：東京商工会議所足立支部、足立区商店街振興組合連合会、足立区工業会連合会、東京都社会保険労務士会足立･荒川支部、ハローワーク足立、公益財団法人日本生産性本部、財団法人21世紀職業財団） 6/26（土）　男と女のホンネでふぉーらむ（女性団体連合会と共催） ・基調講演「真打落語家のワーク・ライフ・バランス」 春風亭鹿の子氏（落語家） 6/27（日）　子育てパパの料理教室 ・パパがつくるお子様ランチ ３　その他セミナー等の開催 上記キャンペーンに先立ち、社会保険労務士、及び区内企業を対象としたセミナー、啓発活動を実施した。 4/27（火）　国・東京都の両立支援助成金説明会 （参加した社会保険労務士：32名） 5/27（木）　労働基準法、育児・介護休業法等の改正に伴う法人向けセミナー＆個別相談会（参加した企業：17社） 6/ 6（日）　あだち食育フェスタ2010での普及啓発活動 ＷＬＢの普及啓発グッズの配布 （ＷＬＢうちわ300枚、ＷＬＢバッチ400個配布）

平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

資料４

平成２２年６月２９日

件　　名	子ども手当の支給状況について
所管部課	子ども家庭部子ども家庭課
内　　容	平成２２年４月から開始された子ども手当の支給状況について、以下のとおり報告する。 1　第１回振込み日 平成２２年６月４日（金） 2　支給件数 ４３，４２８件 [内訳] 児童手当からの移行者（みなし請求者）　３７，８６１件 （うち額改定請求者　約３，５００件） 新規請求者　５，５６７件 ※1　額改定請求とは、平成２２年３月３１日現在で児童手当を受給しており、かつ中学生（新２・３年生）の子どもがいる場合に行う請求である。 ※2　新規請求とは、所得制限により児童手当を受給していない、または中学生の子どもしかいないという場合等に行う請求である。 3　今後のスケジュール 新規申請者について、申請が集中したこと及び審査に時間を要すること等から、第１回支給日に支給できないケースが生じた。 ついては、第２回及び第３回目の支給日を設け、速やかに子ども手当を支給する。 第２回支給日　平成２２年６月１８日（金） 第３回支給予定日　平成２２年７月　２日（金）

平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

資料５

平成２２年６月２９日

件　　名	児童扶養手当の父子家庭に対する支給について
所管部課	子ども家庭部子ども家庭課
内　　容	低所得の母子家庭に支給している児童扶養手当について、父子家庭にも支給するための改正児童扶養手当法が５月２６日に成立した。 １　改正児童扶養手当法施行日 平成２２年８月１日 ２　主な内容 （１）支給月額･･･所得制限あり １人目の児童　[所得により支給額が異なる] ９，８５０円～４１，７１０円 ２人目の児童 ５，０００円 ３人目の児童 ３，０００円 （２）父子家庭に対する初回支給月 １２月（８～１１月分） ３　周知活動 （１）児童育成手当を受給している父子家庭（約４００件）に対し、制度改正の案内を７月下旬頃に送付する。 （２）あだち広報及びホームページへ案内記事を掲載して周知を図る。

平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

資料６

平成２２年６月２９日

件　　名	あだち子育て応援隊事業「病児保育」及び「お泊り保育」について
所管部課	子ども家庭部こども家庭支援センター
内　　容	ＮＰＯ法人が実施する下記の「病児保育」及び「お泊り保育」について、こども家庭支援センターが進めている「あだち子育て応援隊事業」として支援を行う。 記 1　実施理由 今回、厚生労働省が行う「病児・緊急預かり対応基盤整備事業」を受け、ＮＰＯ法人ＣＣＣＮＥＴ（本部 町田市）が、あだち子育て応援隊事業を展開する区内のＮＰＯ法人と連携し「病児保育」と「お泊り保育」を実施することになった。　こども家庭支援センターは、本事業をあだち子育て応援隊事業として支援することとし、サポーター養成講座の会場提供や区民への周知・ＰＲなどを行うものである。 なお、本事業は「サポーター講習会」への講師派遣等、足立区医師会の協力を得て実施する。 2　実施時期　平成２２年６月９日から実施 3　サービスの概要 （1）対　　象：足立区在住の生後２カ月～小学校６年生の子ども （2）内　　容 利用者宅またはサポーター宅で下記の保育を行う。 ①病 児 保 育：子どもの急な発熱などの際に、保育園のお迎えや自宅などで病児の保育を行う（保護者の就労を前提とする） ②お泊り保育：保護者が出張や入院等で保育ができないとき宿泊保育を行う （3）利用料金 ①病 児 保 育：１時間　１，１００円(かかりつけ医の平日診療時間内で対応) ②お泊り保育：１泊(24時間)　１０，０００円 （4）利用方法：ＮＰＯ法人ＣＣＣＮＥＴに会員登録後、下記（6）の区内ＮＰＯ法人に直接申込 （5）会員登録：NPO法人CCCNET ＠子育てｺﾝｼｪﾙｼﾞｪ　TEL0120-709-183 （6）保育申込先：①(国道4号線東側)NPO法人ぷらちなくらぶ　TEL080-2023-3166 ②(国道4号線西側)NPO法人ワーカーズコープTEL080-2023-3285 4　そ の 他 本事業は、ＮＰＯ法人ＣＣＣＮＥＴにより、杉並区、豊島区、町田市、八王子市、清瀬市、小平市、東久留米市、東村山市、西東京市の９区市においても実施される。

資料７

平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

平成２２年６月２９日

件　　名	食育フェスタ２０１０の実施報告について
所管部課	衛生部健康づくり課
内　　容	食育のさらなる普及啓発を図るため、下記のとおり食育イベントを開催したので、その概要を報告する。 記 １　開催日時 平成２２年６月６日（日）　午前１０時～午後４時 ２　会　　場 本庁舎アトリウム、庁舎ホール ３　来場者数等 フェスタ全体　３，０００人 つのだりょうこさんスペシャルコンサート　１，０００人 エコガーデン　５００人 エコガーデン・ハーブティーの試飲　２５０人 ※※当初目標来場者数　２，０００人 ４　内　　容（詳細は別紙チラシのとおり） （１）区民団体等による出展 地域の関係団体の協力により、簡単電子レンジレシピの実演、日本茶のおいしい入れ方体験などを開催した。 （２）企業による出展 企業の協力により、めずらしい野菜の展示とクイズやかつお節けずり体験など、体験型の展示、教室を開催した。 （３）スペシャルコンサート つのだりょうこ氏による食育に関するコンサート（一部トークショー）を開催した。 ５　その他 （１）子ども家庭部との連携イベントとし、コーディネーショントレーニングの体験コーナーなども併設した。 （２）健康づくりスタンプラリーのオープニングイベントとし、会場において、同スタンプラリーの冊子の配布と対象事業のスタンプ（No.15）を押印した。

あだち食育フェスタ2010

見て！ふれて！楽しく食を学ぼう

日時　平成２２年６月６日（日）
午前１０時～午後４時

会場　足立区役所 ｱﾄﾘｳﾑ・庁舎ﾎｰﾙなど
※入場無料

健康づくりスタンプラリー
“スタートイベント”です！
★イベントに来てスタンプをゲットしよう！

食の体験コーナー、おいしい給食コーナー（詳細は裏面参照）

～子どもも、大人も楽しめる体験コーナーがいっぱい！～

食育ビンゴ、野菜の食べ比べ、始めようベランダ菜園、簡単電子レンジレシピ実演など

体験コーナー出展企業・団体（順不同） 足立フリー栄養士会、いい歯ね☆あだち、オリジン東秀㈱
北足立市場、北足立市場協会、キッコーマン㈱、城北ヤクルト販売㈱、東京都茶協同組合足立支部
ネスレ日本㈱、明治乳業㈱、山崎製パン㈱、ヤマハ㈱、レストランピガール

♪♪スペシャルコンサート♪

～おいしい顔は、笑顔がいっぱい～

①午前１１時３０分～正午
②午後　１時３０分～午後２時

☆コンサート開始３０分前より
コーディネーショントレーニングの紹介・体験を行います
会場：庁舎ホール　※当日先着順（定員各 450 名）

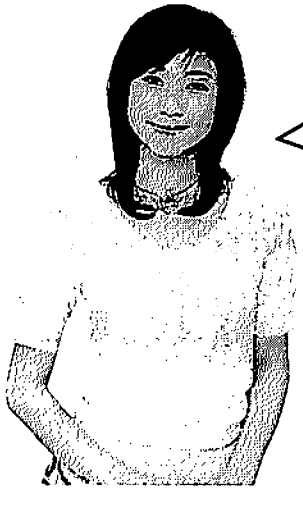
山崎製パンの「自分で作ろう！朝ごはんサンドイッチ教室」

①午前 10 時３０分～
②午後　0時３０分～
③午後　2時３０分～

★各回開始 30 分前より受付開始（先着順）

対象：４歳児～小学校３年生まで
※保護者の付き添いが必要です。

定員：各回２０名



おかあさんといっしょ
18 代目 歌のお姉さん
”つのだりょうこさん”
によるコンサート！
※現在ＮＨＫ「すくすく子育て」出演中

ミニステージ

♪ヤマハの親子リズム遊び
♪食レンジャーショー
♪食育ｸｲｽﾞ、紙芝居など

①午前１０時～午前１１時
②午後　２時～午後４時

【主催】足立区　問合せ先：足立区健康づくり課　電話 03-3880-5433

食の体験コーナー

◆なるほど発見！知って得する食べもののヒミツ

タイトル	内容	出展者
食べものビンゴゲーム	ビンゴゲームで楽しく食事のバランスを学びましょう	オリジン東秀㈱
せんべい焼き体験	せんべい焼きを通し、しょうゆの色・香・味を体験	キッコーマン㈱
おなかニッコリ 健康家族	美肌測定、腸内年齢測定と食生活アドバイス 顕微鏡で乳酸菌の観察、ミニ食育講座もあります	城北 ヤクルト販売㈱
家族みんなの健康習慣	食育ゲーム、コーヒーの効能紹介	ネスレ日本㈱
あなたも私も牛乳博士	タッチパネル式の食育クイズに挑戦！	明治乳業㈱
かしこく食べよう夏野菜	旬の夏野菜の展示と食べ比べ	北足立市場 北足立市場協会
おいしい日本茶ミニ講座	日本茶インストラクターがお茶のいれ方、効能・効果を伝授！	東京都茶協同組合 足立支部
親子で始めるベランダ菜園	家庭で手軽にできる野菜づくりのミニ講座	協力農家

◆やっぱり大事！　早寝早起き朝ごはん

タイトル	内容	出展者
ミニステージ	親子リズム遊び、食ﾚｼﾞｬｰｼｮｰ、食育ウルトラクイズ、紙芝居 （開催時間は表面参照）	ヤマハ㈱ 足立区
ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ体験 開催時間 12：15～12：40	身のこなしが良くなる運動です。 親子で楽しく体験してみましょう	
土の中の野菜を見てみよう	本物そっくりの野菜を土の中から引っこ抜いてみよう	

◆おいしく食べて、健康になろう

タイトル	内容	出展者
えらんではかって何ｷｶﾛﾘｰ	料理カードから１食分を選んで、カロリーを調べてみよう	足立区
おやつのじかん♪ どれをえらぶ？	おやつはどれにする？食べたいおやつをえらんでみよう	
見えない体のあぶらにご用心	体脂肪、筋肉量などを測ってみよう	
ジュースの糖分どれくらい？	ジュース、スポーツドリンクの糖分の計測体験	足立区
簡単電子レンジレシピの実演	簡単でバランスのとれたメニューの作り方を実演	足立ﾌﾘｰ栄養士会

◆よく噛むといいことといっぱい

タイトル	内容	出展者
どのくらいかめているかな？（対象：５歳以上）	かむカム度測定「そしゃく力判定ガム」（時間制：整理券配布・各回 10 名）、「わくわく精米体験」	いい歯ね☆あだち
歯みがき大好き	「大きな歯をみがいてみよう」「なぜなに？動物の歯」	足立区

◆おいしい給食　見てみよう！

タイトル	内容	出展者
おいしい給食の紹介	給食ﾒﾆｭｰｺﾝｸｰﾙやもりもり給食ｳｨｰｸの紹介。給食の実物の展示	足立区
給食ぬりえ	食べもののぬりえで、楽しく食育体験	

＜販売＞ 野菜たっぷりバランス弁当、かむカム弁当：500 円（オリジン東秀㈱）
地場野菜を使った食育ランチ：550 円（14 階展望レストラン）

※弁当・ランチは数に限りがありますので、ご了承ください。

★ｲﾍﾞﾝﾄ当日は区役所北館屋上の『エコガーデン』をオープンしております。
（ハーブティー試飲・ダンボールを使った遊び体験など）

一部体験コーナーは、時間制で開催するものもございます。当日会場にてご確認ください。

資料８

平成２２年度 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

平成２２年６月２９日

件　　名	平成２２年度の認可保育園待機児童の状況について
所管部課	子ども家庭部保育課、子ども家庭部副参事（待機児童対策）

内　　容

1　平成 22 年 4 月 1 日現在の認可保育園待機状況

		０歳	１歳	２歳	３歳	４・５歳	計
申込児童数（認可保育園）		678 (672)	1,258 (1,117)	613 (529)	361 (343)	99 (158)	3,009 (2,819)
入所児童数（認可保育園）		477 (445)	832 (791)	469 (415)	327 (307)	88 (138)	2,193 (2,096)
申込－認可入所（A）		201 (227)	426 (326)	144 (114)	34 (36)	11 (20)	816 (723)
差引児童数	認証保育所入所者	48	105	23	8	1	185(144)
	認定保育室入所者	2	6	1	－	－	9(8)
	家庭福祉員入所者	26	44	5	－	－	75(50)
	小規模保育室	－	3	2	－	－	5(-)
	第一希望のみ	39	42	17	5	3	106(103)
	小　計（B）	115	200	48	13	4	380(305)
待機児童数（A）－（B）		86 (120)	226 (196)	96 (67)	21 (25)	7 (10)	436 (418)

※（　）内は平成２１年度数値　　（単位：人）

2　前年度待機児童数との対比

	０歳	１歳	２歳	３歳	４・５歳	計
21 年度待機児童数	120	196	67	25	10	418
21 年度と 22 年度との差	34 減	30 増	29 増	4 減	3 減	18 増

（単位：人）

3　待機児童数及び保育定員数の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
待機児童数	348	213	205	418	436
保育定員数	9,719	9,819	9,916	9,974	10,388

（単位：人）

4　入所状況及び待機状況の詳細
別紙のとおり

1．平成２２年４月１日現在の年齢別入所状況

①認可保育園

（単位：人）

	施設数	認可保育園定員						入所数（委託を含み受託を含まない）						
		0歳	1歳	2歳	3歳	4・5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4・5歳	計	管外委託（再掲）
公立（幼保園1、公設民営8を含む）	58	275	803	1,059	1,204	2,528	5,869	276	817	1,062	1,187	2,389	5,731	77
私立	34	191	399	537	662	1,317	3,106	198	428	560	636	1,246	3,068	48
合　計	92	466	1,202	1,596	1,866	3,845	8,975	474	1,245	1,622	1,823	3,635	8,799	125
他自治体へ委託[再掲]								1	10	24	25	65	125	
他自治体から受託[別掲]								4	7	12	21	37	81	

②認可外保育施設

（単位：人）

	施設数	認可外（認証・保育室・保育ママ・小規模）定員						入所数（受託を含まない）						入所率
	[人数]	0歳	1歳	2歳	3歳	4・5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4・5歳	計	
認証保育所	33	246	281	204	100	54	885	169	288	202	66	77	802	90.62%
認証保育所（管外委託）	10	－	－	－	－	－	－	9	20	10	6	4	49	
認定保育室	3				－	－	52	5	17	13	－	－	35	67.31%
家庭福祉員	116	年齢別定員無し			－	－	316	85	131	49	－	－	265	83.86%
小規模保育室	1	年齢別定員無し			－	－	15	2	5	5	－	－	12	80.00%
合　計	－				－	－	1,268	270	461	279	72	81	1,163	91.72%

2．平成２２年４月１日現在の待機児童の年齢別・申請事由別内訳

（単位：人）

申請事由	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
就労中(フルタイム)	21(0)	46(0)	9(0)	3(0)	0	0	79(0)	18.1%
就労中(パート)	23(0)	53(3)	23(0)	4(0)	2(0)	3(0)	108(3)	24.8%
求職中	39(8)	108(15)	60(16)	11(2)	1(0)	1(0)	220(41)	50.5%
介護	1(0)	9(3)	0	2(0)	0	0	12(3)	2.8%
疾病障がい	1(0)	2(0)	3(0)	1(0)	0	0	7(0)	1.6%
出産	0	6(0)	1(0)	0	0	0	7(0)	1.6%
就学	1(0)	2(0)	0	0	0	0	3(0)	0.7%
合計	86(8)	226(21)	96(16)	21(2)	3(0)	4(0)	436(47)	100.0%
割合	19.7%	51.8%	22.0%	4.8%	0.7%	0.9%	100.0%	

※（　）はひとり親家庭の再掲。また、就労中(非常勤)には内職を
母の要件（不存在の場合は父）にて集計を行った。
就労内定(予定)５４名は求職中に含む。

3．平成２２年４月１日現在の保育園待機状況

（単位：人）

	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4・5歳	計	認可保育園空き状況			認可外空き	受入可能数
								公立	私立	合計		
1ブロック（千住地域）	7	9	22	3	4	0	38	21	4	25	18	43
2ブロック（江北地域）	10	11	17	7	3	0	38	5	10	15	2	17
3ブロック（興野・本木地域）	7	2	14	3	0	0	19	0	15	15	4	19
4ブロック（梅田地域）	8	7	25	7	0	1	40	1	23	24	19	43
5ブロック（中央本町地域）	8	15	27	12	3	0	57	3	4	7	14	21
6ブロック（綾瀬地域）	12	11	30	10	1	0	52	0	35	35	22	57
7ブロック（佐野地域）	6	4	6	10	1	0	21	19	0	19	18	37
8ブロック（保塚・六町地域）	6	6	21	6	1	0	34	4	0	4	5	9
9ブロック（花畑・保木間地域）	5	1	14	11	2	1	29	12	15	27	1	28
10ブロック（竹の塚地域）	8	1	12	12	4	2	31	26	1	27	20	47
11ブロック（伊興・西新井地域）	4	4	13	4	1	1	23	2	3	5	16	21
12ブロック（鹿浜地域）	6	3	7	4	0	0	14	25	0	25	12	37
13ブロック（東伊興・舎人地域）	5	12	17	6	0	1	36	13	2	15	7	22
管内小計		86	225	95	20	6	432	131	112	243	158	401
管外委託分		0	1	1	1	1	4					
合　計	92	86	226	96	21	7	436					401

資料９

平成２２年度 第１回足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

平成２２年６月２９日

件　　名	保育需要の現状と待機児童解消に向けた当面の対応について
所管部課	子ども家庭部保育課・副参事（待機児童対策）
内　　容	Ⅰ　本案を検討するにあたって 待機児童の現状と背景等を分析し、足立区にある保育資源の活用に努め、足立区保育計画（案）で計画した事業内容も含め、当面の対応策をまとめたものを示す。 Ⅱ　保育施設整備状況と待機児童の現況及び今後の見込み １　これまでの保育施設整備状況 過去５年で保育定員を８３５名増員してきました。 ２　待機児童の地域別の状況 待機児童は大規模開発地域や駅周辺で多くなっている。 ３　待機児童申請別内訳の状況 待機児童は０才から２才に集中している。 就労中（パートタイム）と求職中の家庭の割合が多い。 ４　今後の就学前人口の見込み 特定の地域に就学前児童数の増加が見込まれている。 Ⅲ　当面の待機児童解消に向けた対応 目標　フルタイム就労世帯の待機児童を解消する。 求職中や短時間就労世帯に対応するメニューの充実を図る。 １　認可保育園・認証保育所の定員を増やします。 （１）分園設置や定員の見直し等による認可保育園の定数増 （２）東京都認証保育所（認証保育所）の開設 ２　短時間就労者向けの保育サービスを充実します。 （１）小規模保育室の開設 （２）あだち子育て応援隊月ぎめ預かり事業の実施 ３　家庭福祉員による受け入れ児童数を増やします。 ４　私立幼稚園との連携によるメニューを提供します。 （１）　認定こども園への移行促進と活用 （２）　私立幼稚園の預かり保育の充実 ５　新たな取り組みを進めます。 （１）複数の保育士等によるグループ保育のモデル実施 （２）入園事務の見直し （３）民間集合住宅建設時の保育園設置誘致の要請

６月２９日子ども支援専門部会資料

保育需要の現状と待機児童解消に向けた当面の対応

（平成２２～２３年度）

（案）

足立区子ども家庭部

Ⅰ　本案を検討するにあたって

女性の社会進出や雇用形態の多様化が進み、保育需要は一層増加することが見込まれる中、西新井、新田地域の大規模開発、ＴＸ，日舎ライナー開通など足立区の都市環境は大きく変化し、そのような地域を中心に若い子育て世代の人口増加が進んでいます。そのうえ、２０年後半からの不況は就業環境の悪化や世帯収入の減少などにより、保育需要は予想以上に拡大し待機児童の増加が続いています。

足立区では待機児童を一刻も早く解消するために、２１年３月に「緊急待機児童対策」をまとめ、２２年４月までに認可保育園２園、東京都認証保育所２所、足立区小規模保育室１室を新規に開設しました。加えて、東京都認証保育所や小規模保育室の開設、家庭福祉員の増等を柱とした保育定員を１，５５８人（*保育整備率３５．５％）に増加させる平成２２年度から２６年度までの足立区保育計画（案）を検討してきたところです。

しかし、平成２２年度入園事務では、前年を３３８名上回る申し込み者があり、３月末現在で認可保育園に入園できなかった児童数が前年に比べ９３名増の８１６名となりました。調査の結果、東京都認証保育所等へ入所された方を除いた平成２２年４月１日の待機児童数は前年を１８名上回る４３６名となり、今後とも保育需要が増えることが見込まれます。

そのため、この現状と背景等を再度分析し、足立区にある様々な資源を保育資源として活用し、足立区保育計画（案）で計画した事業内容も含め、当面の対応策をまとめたものをお示しします。

---

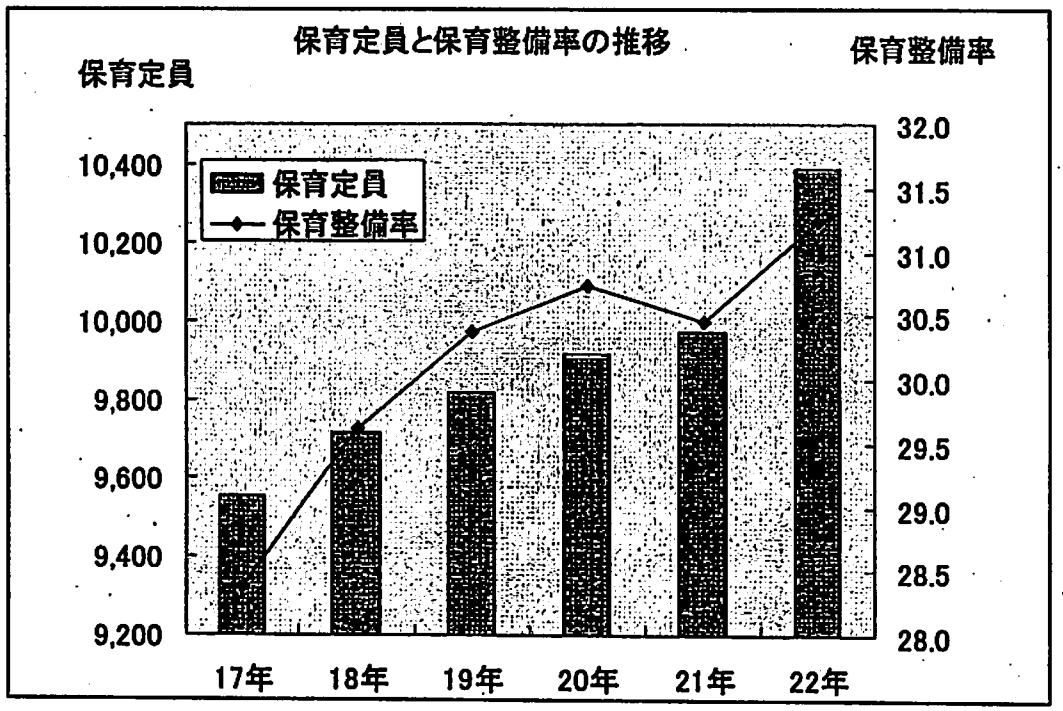
* 保育整備率：保育定員÷就学前児童数

Ⅱ　保育定員の状況と待機児童の現況及び今後の見込み

1　これまでの保育定員の状況

過去５年で保育定員を８３５名増員してきました。

過去５年間で認可保育園の定員を３０９名増してきたほか、東京都認証保育所の開設や、家庭福祉員の増員に伴う受託児童の増加など、着実に保育定員を伸ばしてきました。特に２１年度から２２年度には保育定員を４１４名増やしましたが、残念ながら待機児童も増えている状況にあります。



就学前人口と保育定員・保育整備率・待機児童数の推移　　（各年４月１日現在）

	17年	18年	19年	20年	21年	22年		26年（目標）
就学前人口(A)(人)	33,655	32,806	32,318	32,264	32,756	33,242		33,218
保育定員(B)(人)	9,553	9,719	9,819	9,916	9,974	10,388		11,802
保育整備率(B/A%)	28.4	29.6	30.4	30.7	30.4	31.2		35.5
待機児童数(人)	427	348	213	205	418	436		—

※５年間の定員増に係る経費（施設開設経費と関連補助金等）は概算で１，０６６百万円がかかっています。１人当たりに換算すると１，２７６千円です。

2　待機児童の地域別の状況

待機児童は大規模開発地域や駅周辺で多くなっている。

２２年４月１日の待機数の地域別内訳を見ると、地域的に突出して多い地域はありませんが、千住、江北、梅田、中央本町、綾瀬の各地域で比較的に多くなっています。経年の変化を見てみると、千住地域、江北地域、梅田地域、綾瀬地域などでは平成２１年から増加傾向にあるといえます。また、中央本町地域は各年とも待機児童が多くいる状況です。

地域別待機児童数の推移　　（各年４月１日現在）

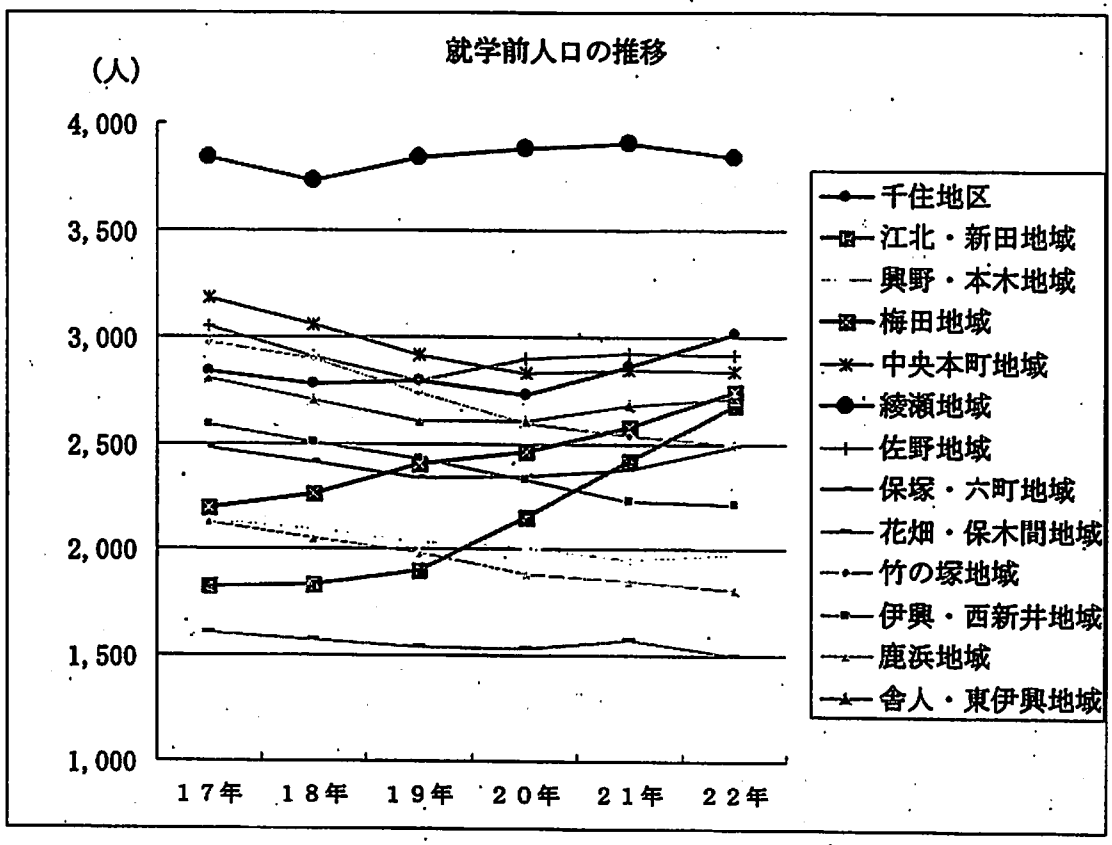
ブロック	１８年	１９年	２０年	２１年	２２年
第１　千住地域	40	18	19	30	38
第２　江北･新田地域	24	10	9	34	38
第３　興野・本木地域	17	17	4	17	19
第４　梅田地域	17	12	11	38	40
第５　中央本町地域	42	26	40	47	57
第６　綾瀬地域	28	17	29	67	52
第７　佐野地域	23	15	16	35	21
第８　保塚・六町地域	21	11	13	29	34
第９　花畑・保木間地域	17	15	16	22	29
第１０竹の塚地域	28	29	19	22	31
第１１伊興・西新井地域	22	14	10	6	23
第１２鹿浜地域	25	0	5	27	14
第１３舎人・東伊興地域	38	13	8	31	36
区内小計	342	197	199	405	432
管外委託分	6	16	6	13	4
合　計	348	213	205	418	436

※地域別待機児童数は、待機児童となっている児童が第一希望で入園希望した保育園所在地ごとにカウントしています。

駅周辺ごとの待機児童数（平成２２年４月１日）

北千住駅周辺　千住あずま保育園１６名、日の出町保育園８名
西新井駅周辺　西新井きらきら保育園１６名、島根保育園９名
青井駅周辺　青井保育園１２名
五反野駅周辺　弘道保育園１３名、やよい保育園１０名
綾瀬駅周辺　東部若葉保育園１４名、あやせ保育園９名、東綾瀬保育園７名
竹ノ塚駅周辺　伊興すみれ保育園１４名、伊興大境保育園１２名

平成１７年以降の就学前人口の推移



○　綾瀬地域・中央本町地域

就学前人口の増減によらずに待機児童が多くなっています。この地域は綾瀬駅、五反野駅、青井駅といった駅周辺地域を含むことが要因の一つと推定されます。

○　江北地域・梅田地域

新田地区及び西新井駅付近の保育園に待機児童が多く、大規模開発が行われたことによる就学前人口の増が待機児童の増加要因と推定されます。

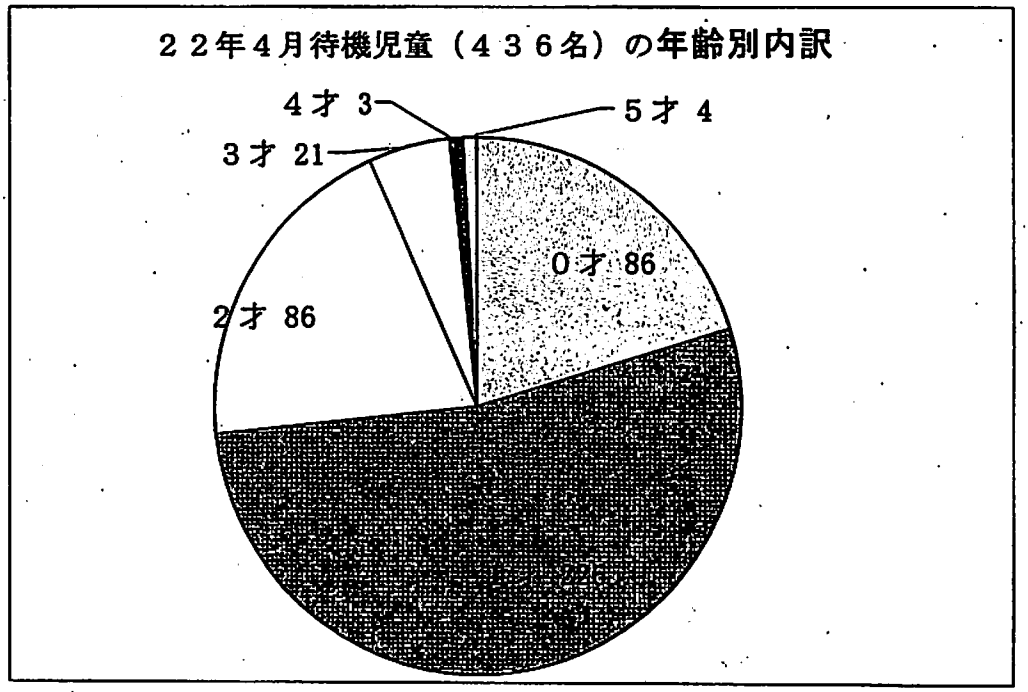
○　千住地域

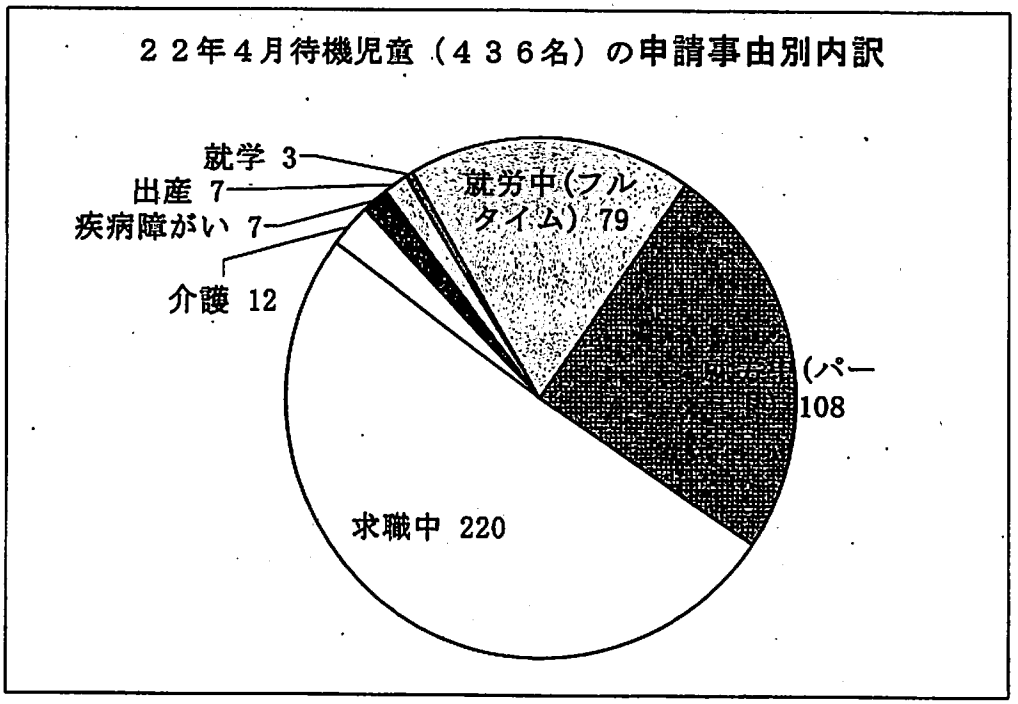
民間大規模集合住宅の建設があったことが当該地域の待機児童の増加の一つの要因と推定されます。

3　待機児童申請別内訳の状況

待機児童は０才から２才に集中している。
就労中（パートタイム）と求職中の家庭の割合が多い。

待機児童の年齢別の内訳を見ると、０才から２才が９割以上を占めています。また、待機児童数の申請事由別内訳を見ると、約半数を占めているのは求職中の世帯であり、次いで就労中（パートタイム）の世帯の順となっています。

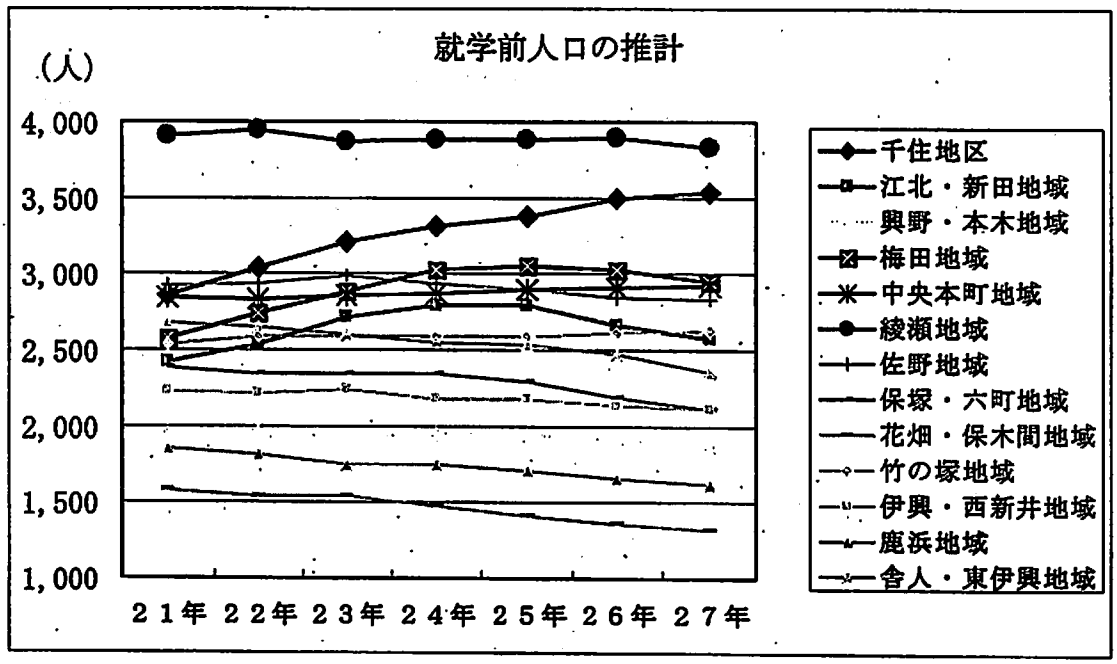




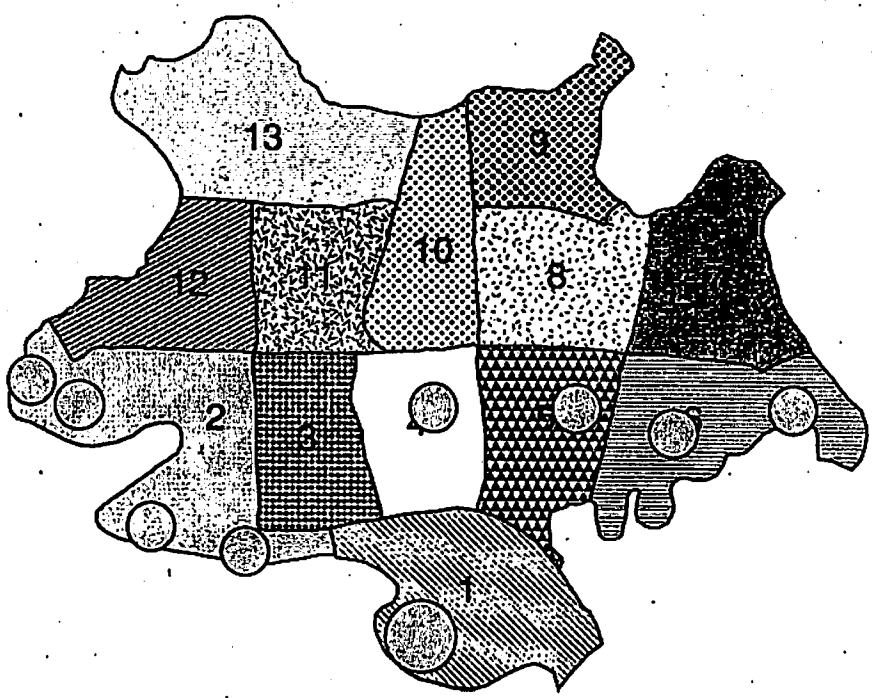
4　今後の就学前人口の見込み

特定の地域に一時的な就学前児童数の増加が見込まれる。

第２期あだち次世代育成支援行動計画策定にかかる将来人口推計によれば、千住、江北・新田、梅田の地域では一時的に増加し、平成２４年から平成２７年頃にピークを迎えた後、減少になると見込まれています。



（参考）直近で民間大規模住宅等の建設が見込まれる地域



※◎が現在、建設予定がある地域

Ⅲ　当面の待機児童解消に向けた対応

待機児童申請事由では、求職中とパートタイム就労の割合が多いことが挙げられます。そのため、当面の待機児童解消に向けた対応として、次の目標を掲げることとします。

目　標

1 フルタイム就労世帯の待機児童解消を目指します。
2 求職中や短時間就労世帯に対応するメニューの充実を図ります。

待機児童は子育てファミリー層が多く転入する地域や駅周辺の保育園に多い傾向があるため、今後の人口の地域別動向や地理的な視点を踏まえて今後の待機児童対策を考える必要があります。マンション建設や大規模開発等の情報を収集して、これから待機児童が多くなると見込まれる地域を中心に、就労形態に応じた保育定員の増を図ります。

≪対応策１≫認可保育園・認証保育所の定員を増やします。

（1）定員の見直し等による認可保育園の定数増

定員の見直し等により、綾瀬、梅田、江北などの各地域で定員増を図ります。

（　）内は３歳未満児童数

事業の現況 22年4月1日	年度別 22年度	23年度
認可保育園 施設数 92 園 定員　8,975 人 (3,264 人)	【江北地域】 （上沼田・第二上沼田統合による（仮称）新上沼田保育園開設、定員増）　9 人 (7 人) 新田さくら保育園新規開設　29 人 (29 人) （4月1日開設済） 【綾瀬地域】 （東綾瀬きらきら保育園定員増）　30 人 (9 人) （4月1日定員増加済）	【江北地域】 （(仮称)新上沼田保育園定員増）　8 人 (6 人) 新田さくら保育園定員増　13 人 (0 人) 【綾瀬地域】 （東綾瀬きらきら保育園定員増）　24 人 (2 人) 【梅田地域】 （定員増）　10 人 (14 人) ※年齢別定員の変更による乳児定員増 【中川地域】 （定員増）　12 人 (12 人)

（２） 東京都認証保育所（認証保育所）の開設

１３時間の長時間保育と、０歳児保育が利用可能な施設としての東京都が認証した都市型の保育施設を、千住、中央本町、綾瀬、六町などの地域に開設していきます。

（・）内は３歳未満児童数

事業の現況 22年4月1日	年　度　別	
	22年度	23年度
施設数　32所 定員　885人 (692人)	新規 4所　定員 136人 (124人) （6月1日までに２園開設済）	新規5所　定員153人 (153人) (保育室からの移行３園含む)

≪対応策２≫短時間就労者向けの保育サービスを充実します。

（１）小規模保育室の開設

主に求職中や短時間勤務の保護者を対象とした区が独自に定める基準を満たした保育施設です。２２年４月にＵＲ大谷田団地の空き店舗を利用した施設を新規に開設し、さらに千住、中央本町、綾瀬、六町などの地域に開設を進めます。

事業の現況 22年4月1日	年　度　別	
	22年度	23年度
施設数　1室 定員　15人	施設数5室　定員75人 （4月1日までに１室開設済）	施設数10室定員150人

（２）あだち子育て応援隊月ぎめ預かり事業の実施

求職中や短時間勤務の保護者を主として、月ぎめで乳幼児を預かる事業を２２年５月から開始しています。時間単位で利用できる一時保育も引き続き行います。

事業の現況 22年4月1日	年　度　別	
	22年度	23年度
あだち子育て応援隊 月ぎめ預かり事業 なし	定員　20人	定員　50人

※あだち子育て応援隊事業は、(旧)「子育てホームサポート事業」と（旧)「ファミリー・サポート・センター事業」を統合して平成２２年に始めた事業です。

≪対応策３≫家庭福祉員による受け入れ児童数を増やします。

家庭福祉員（保育ママ）の増員に加え、経験豊富な家庭福祉員（５年経験者）については、今までの基準（３名）に２名の加算枠を設け、補助者をつけたうえで５名まで預かれることにしていくなどにより、受け入れ児童数を増やし、区内全域で低年齢児保育を行います。

事業の現況 22年4月1日	年　度　別	
	22年度	23年度
家庭福祉員 116人 定員 316人	家庭福祉員　30人 定員 76人	家庭福祉員　25人 定員 50人

≪対応策４≫私立幼稚園との連携によるメニューを提供します。

（１）　認定こども園への移行促進と活用

認定こども園は、就学前の子どもに幼児教育・保育を提供することを目的として、０歳から就学前の児童を対象に保育に欠ける子も欠けない子も受け入れる施設です。既に区内では３歳から就学前の子どもを対象とした４園が開設しています。

認定こども園では、保育に欠ける子の受入れ定員を定めて募集・保育を行っており、この仕組みは、保育所待機児童の解消に資することができます。

そこで、私立幼稚園の認定こども園への移行を支援するために、従来の補助制度に加えて１歳児から保育の受け入れを行う場合の施設整備に対する助成制度や保育充実に向けての助成制度を区独自に創設し、保育に欠ける子も幼稚園教育を受けることのできる機会を提供していきます。

事業の現況 22年4月1日	年　度　別	
	22年度	23年度
認定こども園４園 定員 151人(36人)	施設数１園　定員 30人 (0人)	施設数２園　定員 80人 (20人)

（2）　私立幼稚園の預かり保育の充実

現在、ほとんどの私立幼稚園で預かり保育を実施しています。この預かり保育について、両親が働いている家庭でも幼稚園に安心して通わせることができるように、預かり時間の延長や長期休業期間での実施などのさらなる充実を目指し、私立幼稚園と連携して取り組んでいきます。

この預かり保育の充実により、３歳以上の保育に欠ける子も幼稚園に通うことができるようになります。

現在、教育委員会で取り組んでいる「幼児教育奨励事業」のモデル園を拡大し、その成果を踏まえて、教育委員会と共に新たな支援のあり方を検討していきます。

また、幼稚園の預かり保育時間のみでは子どもを就園させることが困難な家庭に対して、保護者が迎えに来るまでの間一定の施設で保育する仕組みを整えてモデル実施し、長時間の保育が必要な子が幼稚園教育を選択できる機会を提供していきます。

≪対応策５≫新たな取り組みを進めます。

（1）複数の保育士等によるグループ保育のモデル実施

保育士等資格のあるものがグループで児童を預かるグループ保育のモデル事業を検討し、年度内に実施していきます。複数の保育従事者による少人数の保育を実施するにより、待機児童解消につなげるモデル事業です。

事業の現況 22年4月1日	年　度　別	
	22年度	23年度
な　し	2グループ　定員12人 (12人)	2グループ　定員12人 (12人)

（2）認可保育園分園等の設置の検討

保育需要が急激に増える見込みがある地域に認可保育園分園等の設置を検討します。急激な保育需要の増加に対応する新たな手法を検討します。

（3）入園事務の見直し

待機児童の多い地域においては、保育の実施指数が高く近隣の地域であれば入園が可能であっても、待機児童となっている場合があります。保育の実施指数の高い児童の地域的な偏在の解消に向け、指数の改定や入園希望園を３か所から５か所に増やすなど、フルタイム就労世帯をはじめとして保育の実施指数の高い児童が入園できるよう入園事務の見直しを行います。

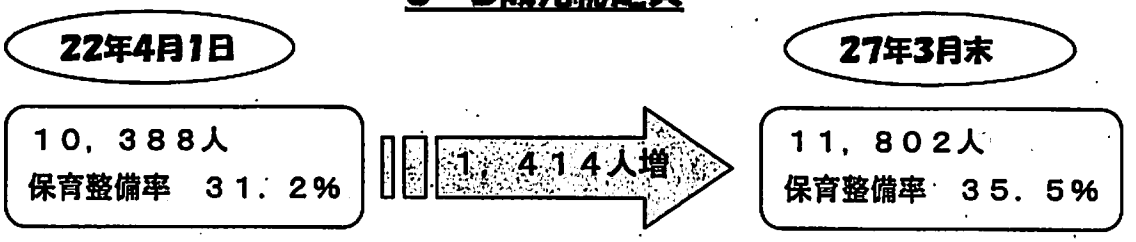
（4）民間集合住宅建設時の保育園設置誘致の要請

大規模開発地域で待機児童が発生している状況を踏まえ、「足立区環境整備基準」の協議事項を改正し、２００戸以上の民間集合住宅建設の際に、保育課と事前協議を行わせる仕組みを導入します。就学前児童数や待機児童の地域的な情報を提供し、就学前児童数が多い地域では開発事業者に対し保育施設を設置するよう要請してまいります。

≪参考≫当面の整備見込み等

今回の対応により、保育計画（案）に示している平成２６年度末保育定員数１１，８０２人（保育整備率３５．５％）に向け、平成２３年末に３３．４％まで整備されます。

0～5歳児総定員



	平成２２年度末	平成２３年度末
０～５歳児人口	33,196 人	33,524 人
０～５歳児総定員 (保育整備率)	10,661 人 (32.1%)	11,171 人 (33.4%)
３歳未満児人口	17,080 人	17,211 人
３歳未満児定員 (保育整備率)	4,636 人 (27.1%)	5,053 人 (29.4%)
整備内容 ()は３歳未満児定員	認可保育園　68 人（45） 認定こども園　30 人（ 0） 東京都認証保育所　136 人(124) 家庭福祉員等　88 人（88） 小規模保育室　75 人（75） (仮称)あだち子育て応援隊　20 人（20） 計　417 人（352）	認可保育園　67 人（34） 認定こども園　80 人（20） 東京都認証保育所等 101 人(101) 家庭福祉員等　62 人（62） 小規模保育室　150 人(150) (仮称)あだち子育て応援隊　50 人（50） 計 510 人（417）

足立区大規模集合住宅の建築における保育所等の設置の協力要請に関する要綱（案）

（目的）

第１条　この要綱は、増加する保育需要に対応するため、大規模集合住宅の新築又は大規模な増改築を行う事業者に対して、地域の実情等を踏まえて保育所等の自主的な設置などの協力を要請し、もって保育所待機児童の解消及び児童福祉の増進を図ることを目的とする。

（定義）

第２条　この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

（１）　大規模集合住宅　一団の土地又は近接した土地にある共同住宅又は長屋で、同一事業者が建設する住戸の数の合計が２００戸以上のものをいう。

（２）　大規模な増改築　建物の増築又は改築により、住戸の数が大規模集合住宅に該当することとなるものをいう。

（３）　保育所等　次のいずれかに該当するものをいう。

ア　児童福祉法（昭和２２年法律第１６４号）に規定する保育所

イ　東京都認証保育所事業実施要綱（平成１３年５月７日１２福子推第１１５７号）に規定する保育所

（事前協議）

第３条　区長は、事業者が大規模集合住宅の新築又は大規模な増改築を行おうとするときは、次の各号に掲げる事項について、事前協議届出書（様式第１号）を提出させるとともに、協議させなければならない。

（１）　計画の概要

（２）　協議関係事項

ア　就学前人口の増加見込みの報告

イ　保育所等の自主的な設置

（３）　前２号に掲げるもののほか、区長が必要と認めるもの

第４条　区長は、前条の事前協議届出書の内容及び地域の実情から、大規模集合住宅の建築に当たり、保育所等の設置が必要と認められる場合は、事業者の自主的な保育所等の設置について協力を要請するものとする。

第５条　区長は、第３条の規定による協議が終了したときは、保育所等の設置に関する事前協議済書（様式第２号）を当該協議に係る届出書を提出した事業者に交付するものとする。

付　則（２２足子待発第　　号　平成２２年　月　日子ども家庭部長決定）

この要綱は、平成２２年１０月１日から施行する。　（予定）